

謹賀新年



刈谷市長
稲垣 武

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、市制施行75周年という節目を迎え、「わたしたちの夢と共にはばたかりや」をキャッチフレーズにさまざまな記念事業を開催してまいりました。特に屋外音楽フェスKARIYA大演会や75周年記念パレード、NHKのど自慢には、市内外から多くの人が訪れ、幅広い世代に楽しんでいただくことができました。

本年は2月から、市民の皆さまの足としてご利用いただいている「かりまる」を有料化いたしますが、路線の充実や運行本数の増加などにより利便性を向上させ、これまでの公共施設を巡回するバスから日常の暮らしを支えるコミュニティバスへと進化させ、より利用しやすい交通手段となることを目指してまいります。

また9月にはアジア最大のスポーツの祭典であるアジア・アジアパラ競技大会が愛知県で開催されます。本市は、アジア競技大会のサッカー、アジアパラ競技大会の車いすラグビーの会場となっており、トップレベルの迫力あるプレーを間近で見ることで、絶好の機会になると期待しております。

本年も皆さまに、刈谷に住んでよかった、住み続けたいと思っていただけるよう、安心安全なまちづくりに、にぎわいをプラスするための各種施策に取り組んでまいりますので、引き続き市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が、市民の皆さまにとりまして幸多き年となりますようお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



刈谷市議会議員
鈴木 正人

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。

健やかで、希望に満ちた初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は、市議会に対するご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、市制施行75周年を記念して多くの事業を実施した1年でした。とりわけ、75周年記念パレードでは、チビッコ甲冑行列や小学生マーチングバンドなどと一緒に、キッズダンサーがディズニーキャラクターと踊り、子どもから大人まで幅広い世代の皆さまの笑顔とにぎわいがあふれる中で、75周年という節目を祝うことができました。また、刈谷駅周辺で実施しているかりやストリートイルミネーションは、例年と比べてより華やかに装飾し、本市の玄関口にふさわしい彩りを添えております。

本年9月にはアジア・アジアパラ競技大会が本市においても開催されます。海外からも多くの方々を迎え、スポーツの面はもとより、本市がこれまで取り組んでまいりました多文化交流を一層進める絶好の機会となりますので、ぜひ多くの市民の皆さまに大会に関わっていただきたいと思えます。

私ども市議会としましては「市民に開かれた議会」、「市民に信頼される議会」を目指して市民の負託に的確に応えてまいります。市民の皆さまの声を真摯に受け止め、市議会議員一丸となって安心安全でにぎわいのあるまちの実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまのご健康とご多幸を祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。



ミササガ市長
キャロリン・パリッシュ

ミササガ市およびミササガ市議会を代表し、刈谷市にとって幸せて繁栄に満ちた新年となることをお祈り申し上げます。

2026年を迎えるにあたり、ミササガ市と刈谷市の姉妹都市提携45周年をお祝いさせていただきます。この記念すべき節目を、光栄に思い、大変嬉しく思っております。

過去45年間にわたり、両市のパートナーシップはミササガ市と刈谷市の職員および市民の間に文化的・社会経済的な交流の機会を数多くもたらしました。築いてきた絆と、友好関係が活気や多様性に富んだ両コミュニティに与えた多大な影響を誇りに思います。

1981年に両市が姉妹都市提携を結んで以来、それぞれが現代的で活気に満ち、活動的かつ革新的なグローバル拠点へと成長し繁栄していることを誇りに思います。今後の45年に向けて、両市の絆を強化するという新たな決意をもって、このパートナーシップをさらに発展させていくことを楽しみにしております。

この特別な記念の年を迎えるにあたり、ミササガ市は刈谷市を姉妹都市と呼べることを誇りに思い、今後も多くの節目を共に祝うことを楽しみにしております。

メッセージの原文はこちらへ [ID 1009656](#)